

南三陸「森里海ひと」の地域資源ブランド推進事業

東日本大震災からの復興途上である平成27年度、森林国際認証であるFSCと水産養殖国際認証であるASCを取得し、世界初のFSC・ASC同時取得地域となった南三陸町。

一方、町内総生産における第一次産業分野は平成18年度をピークに、25年度は44%減の3053百万円である。また、人口は25年度末は平成18年度末と比較し22%減の14,505人、27年度末は13,717人と、人口減少に歯止めがかからない状況である。

人口減少に対応しつつ、町内の基幹産業である第一次産業を持続可能な産業とするためには、環境への過度な負荷を減少させた上で、各々の製品の付加価値を向上させ、第一次産業の生産額を維持・向上させることが喫緊の課題である。

そのため、FSCの町内産材やASCの牡蠣を代表とする南三陸らしい地域資源を、町民・企業・行政が再認識・再発見し、一丸となって町内外・国内外へ発信させるとともに、既存地域資源を活用した新たなブランド・産業の構築することにより、資源の高付加価値化を目指す。この取組により、町のブランド・しごとが輝き、交流人口増加や他地域からの移住を促すことも期待される。

◆事業全体像(イメージ)◆

《地域資源プラットフォーム運営事業》

地域資源プラットフォームの運営を軌道に乗せ、地域ブランド基準の策定や具体的な地域ブランド製品の先行的な認定を行うとともに、地域商社機能の発揮による販路開拓を推進する。

①

【予算:16,000千円】

【未利用資源活用実証事業・地域資源研究事業】

地域の未利用資源の活用に向けた仮説検証のための試験・検討を行うとともに、地域資源の潜在力や新規開発の可能性を広げる研究デザイン力をベースに大学等の適切な機関との連携体制を構築する。

②

【予算:6,000千円】

～ブランド化へ向けた基盤整備～

【国際認証等取得促進事業】

南三陸町を代表する地域資源となりうるASC・FSC認証を取得した資源について、今後町内でこれらの国際認証取得が横展開できるよう推進する。未利用資源活用において、事業化を目指した実証実験を行う。

③

【予算:2,000千円】

～ブランド化へ向けた基礎情報収集～

FSC・ASCをはじめとした

南三陸町
地域資源

KPI

【平成31年3月】 参画事業者数：15件
ブランド認定件数：2件
第1次産業生産額：3,890百万円
創業件数：5件

総事業費
約24,000千円

南三陸「森里海ひと」の地域資源ブランド化推進事業

南三陸町は、日本初のASC認証や県内初のFSC認証など国際認証の取得を進め、地域資源を用いた商品・サービスの付加価値向上と持続可能な地域産業の発展を目指している。その実現のため、地域の事業者や産業団体を中心に地域資源プラットフォームを構築し、地域資源の付加価値向上を目指したブランド育成に取り組むとともに、これを促進する民間活動を支援する。また、地域資源研究による新規資源の発掘と事業化に取り組む。これらにより環境に配慮した責任ある生産活動と地域資源のブランド化を推進し、持続可能で、住民が誇りを持てる魅力ある地域を創出する。

年度	28年度	29年度	30年度	31年度
事業イメージ	【スタートアップ】 PF設立準備委員会 (基本構想) [5,175] 地域資源活用人材育成事業(基礎) [4,708] 国際認証等取得促進事業(課題整理等) [9,072] コワーキング基盤整備支援事業 [9,000]	【プラットフォーム構築】 PF設立準備委員会 (基本計画・設立行為) [8,000] ブランド基準検討 [8,000] 地域資源活用人材育成事業(実践編) [5,000] 国際認証等取得促進事業(横展開・周知) [4,000] コワーキング基盤整備支援事業 [4,000]	【プラットフォーム始動】 PF(プラットフォーム)活動 [各年度10,000] ブランド基準策定 [2,000] 先行ブランド認定(2件) [4,000] ブランド育成事業(横展開) [2,000]	ブランド認定(8件) [3,000] ブランド育成事業(横展開) [2,000]
	地域資源研究	未利用資源活用実証事業 スキーム構築(設備投資含む) [4,000]	実証事業(設備投資含む) [8,000]	地域資源研究 テーマ選定研究デザイン [2,000] 研究実施(3件) [6,000]
事業費	27,955千円	21,000千円	24,000千円	29,000千円

KPI

【平成32年3月】

- ブランド認定件数：8件
- 参画事業者数：20件
- 第1次産業生産額：4,058百万円
- 創業件数：10件